



科・ぼ・せ・ん News Letter

スペシャル Vol.1

出会う、見つける、夢中になる～科ボラの後輩たちへ

2023.7.12 発行

<https://ridai-svc.org/>



From Editor //

岡山理科大学 科学ボランティアセンター発行の交流紙「科ぼせん NewsLetter」(年6回発行)には、キラーコンテンツとも呼ぶべき人気コーナーがあります。「科ボラ学生スタッフ会 OB/OG 紹介」です。かつて科ボラで青春の一時期を過ごし、時に悩み、時に苦しみ、お互いを励まし合い、成功に肩を抱き合い、そしてたくさんの人々の笑顔を生み出してきた——人としての成長を遂げてきた若者たちの たくましくも美しい姿が、読む者の心を強く揺さぶります。

科ボラ 15 周年を機に、この 1 年半に登場していただいた 9 名の方の素晴らしいメッセージをまとめて紹介させていただきます。

彼らが異口同音に語るの、「希少性」という言葉です。「私は私で、だから素晴らしい。あなたはあなたで、だから貴い」。そんなメッセージが、後輩へ伝えたい言葉として何よりも多く語られています。そんな思いやりと自信を身に着けた若者が、今も科学ボランティアセンターで育っています。

今後とも、科学ボランティアセンター学生スタッフ会をよろしく願います。(科学ボランティアセンターコーディネーター：岡崎 則武)

2022 年第 1 号掲載



ヒメ
(15 生)
応用物理
学科卒
理化学機
器メーカー
勤務

2022 年第 2 号掲載



クーボ
(16 生)
基礎
理学科卒
岡山市立
中学校
勤務

2022 年第 3 号掲載



いずみん
(14 生)
動物学科
卒
会社勤務
(営業職)

2022 年第 4 号掲載



ゆうすけ
(12 生)
化学科卒
製薬会社
勤務

2022 年第 5 号掲載



わでい
(15 生)
化学科卒
製造メ
ーカー勤務

2022 年第 6 号掲載



さっきー
(17 生)
建築学科
卒
建設会社
勤務

2023 年第 1 号掲載



わっくん
(16 生)
基礎
理学科卒
千葉市立
中学校
勤務

2023 年第 2 号掲載



りかちゃん
(14 生)
応用数学
科卒
エンタメ
企業勤務

2023 年第 3 号掲載



みっちー
(12 生)
化学科卒
広島市立
中学校
勤務

学生スタッフ会 OB/OG 紹介



ヒメ

理学部 応用物理学科 物理科学専攻
理学研究科 応用物理学専攻
(2020 年度卒業)

科ボラ在籍 2015~2017 年

近況・仕事内容

早いもので社会人2年目になりました。今は東京都内に住んでいて、理化学機器メーカーの技術職として働いています。小学校～大学の理科の実験で使用する実験機器の開発が主な仕事です。他にも製品の技術的なサポートの対応、製品紹介用のYouTube動画の撮影のサポートなどをしています。不慣れなことも多くまだまだ四苦八苦していますが、楽しく仕事させていただいています。

科ボラの思い出

たくさんあります！ボランティア当日にスタッフやお客さんと楽しんだことも思い出ですが、そこに至るまでの準備の過程で、毎日ボラセンの鍵が閉まるギリギリまでみんなで作業をしていた日々なども楽しい思い出です。ショーで派手な失敗をした思い出もあります(笑)



今役に立っていること

科ボラで様々な実験や工作などを経験した分、何を使ったらどんな実験ができるかという引き出しが増えました。仕事柄、学校での実験の経験を活かす場面がよくあります(製品の検証など)。私が通っていた中高は実験の授業がほぼなかったため、その部分の穴を科ボラに埋めてもらえ、今はその経験に助けられています。また、知識面では仮説実験授業での学びが多く活かされています。正直、業務の中で「大学の講義で学んだな」と思うよりも「仮説実験授業で学んだな」と思うことの方が多いかもしれません。特に電磁気分野は似たような実験をする機会も多く、日々助けられています。さらに、工作の経験は設計時のアイデアに繋がることもあります。科ボラ様様ですね(笑)

【写真は学生時代📷】

後輩へのメッセージ

皆さんはどんな思いから科ボラに触れましたか、もしくは触れようとしていますか。「単位のため」「将来のため」「楽しそう」「なんとなく」など色々あると思います。その思いから触れたこの活動はきっと今後の皆さんの糧になります。私は「楽しそう」から科ボラに触れ、次第に目の前にある科ボラに没頭していくようになりました。それが職に結びついたのは偶然の賜物です。

また、科ボラが課外活動として、そして講義としてここまで充実しているのは岡山理科大学の大きな特徴です。この大学だからこそできる活動に、少しでも触れてもらえたら嬉しいです。このご時世なのでなかなか思うようにボランティアができないこともあると思いますが、機会があればぜひ参加してみてください。これからの皆さんの科学ボランティア活動を、SNSやHPなどで見守っています！



∴ 学生スタッフ会 OB/OG 紹介 ∴



クーボ

岡山市立中学校 勤務

岡山理科大学 理学部 基礎理学科
(2020年卒業)

科ボラ在籍 2016~2018年

** 近況・仕事内容 **

この4月から、社会人3年目に突入しました。香川の小学校で2年間常勤講師として勤務して、この4月から教諭として岡山市の中学校の教員として働いています。現在の勤務校は、小学生と中学生が同じ場所で勉強をする義務教育学校という新しいスタイルの学校というもあり、今年度は8年生（中学校2年生）と6年生の理科の授業を担当しています。人生初の中学校教員なので不慣れなことばかりで毎日悪戦苦闘していますが、毎日楽しんで仕事をすることができています。

** 科ボラの思い出 **

科ボラでの一番の思い出は、3000人の前でおしゃべりさせていただいた入学式の祝砲（空気砲）を披露した時です。実は、僕が科ボラに入ったきっかけが自分の入学式で先輩が大勢の前で楽しそうにおしゃべりしているのを見て、「自分もあの舞台に立ちたい！！」と思ったことでした。なので、念願の舞台に立った時の感覚は忘れられません。（本番直前にお腹が痛くなったことは内緒です。笑）



** 今役に立っていること **

科ボラでのサイエンスショーや科学教室の講師の活動を通して、**自分の力で場をコントロールする経験**をたくさん積ませていただきました。そのおかげで普通の授業では、**場を盛り上げたり、子どもたちから言葉を引き出したりしながら、楽しく授業をすることができています。**授業が終わった後に、子どもたちが「今日の授業めっちゃ面白かった！！」と言ってくれた時のうれしさは格別ですよ！！

ちなみに、科ボラの活動で小学生との関わり方や実践的な中学理科の指導法を学ぶことができたからこそ、現在義務教育学校でなんとか仕事ができるなあとつくづく思います。笑

** 後輩へのメッセージ **

科ボラにいる最大のメリットは、学校（大学も含まれます）の授業では絶対に学べないことを経験することができることです！**特に、教職の道に進もうと思っている人にとっては、これほど実践的な学びができる場は他に無い**と思います！！一般の学生と比較したら、圧倒的な場数の差があるので大きなアドバンテージを得られますよ！

僕が大学を卒業してから4年しか経っていませんが、世界は大きく変化しています。大学生だからこそできる活動にどんどんチャレンジしてってくださいね。僕も、今度はクライアントとしてお世話になりたいなんて、思っていますので、ぜひよろしくお願いします笑

【特報!】

まもなく、教員志望の学生さんと、現役の若手教員とで集まって気楽に情報交換や学びあいをするグループを始める予定です！役に立つ、ためになる情報がいっぱい得られると思いますよ！

[写真は学生時代📷]



∴ 学生スタッフ会 OB/OG 紹介 ∴



いずみん

会社勤務

岡山理科大学 理学部 動物学科
(2018年卒業)

科ボラ在籍 2014-2018年

** 近況・仕事内容 **

卒業後、人材派遣会社に入社して、求職者と求人を出す会社の橋渡しを行っておりましたが、自身の営業力や仕事の回し方に疑問を持ち、より「良い大人」になるため漠然とした目標を胸に現在の会社に入社しました。

この4年で、販売員・ベンチャー企業の営業・大企業の営業と経験しておりますが、自分の未熟さと向き合いながら社会の責任を果たそうと楽しんでおります。

** 科ボラの思い出 **

思い出として強烈なのは2つあります。1つはマグデブルグの半球（ポウルを2つ合わせて球状にし、中を真空にする）と引っ張っても離れない）で、子供達が綱引きで空気のと頑張って戦うと言う構図が好きでしたし、子供達も「絶対開けてやる！」と奮って参加してくれたのが嬉しかったです。

[写真は学生時代👉]



↑ 肩からぶら下げているのが「マグデブルグの半球」

2つ目は朝日塾小学校の実験教室です。当時のリーダー（あばやん）とタッグを組んで森田先生の指導の下、はしぎにはしぎ、児童たち全員から高評価をもらったのは大変承認欲求を刺激されました。

** 今役に立っていること **

正直、今営業として科学の知識が営業実績に活きる事は多くはありません。しかし、あの時得意だった事はすぐに社会に出てからも長所として活かしています。

例えば、人の注目を集める事。私は特に飛び込み営業なので、不信感からマイナスイメージで始まる事が多いです。しかし、子供達に話をする時と同様、**抑揚のある話し方や、相手の人にも関係がある話題で事例を聞き出す事で、自分に関係のある話だと思ってくれます。**
「ここまで営業に話したのは君だけだよ」などと言われると、大変勝ち誇った気持ちになります。（笑）

** 後輩へのメッセージ **

無形営業（サービスなど形のない物の営業）はかなり文系が多い職種で、自分が持っている知識が大変偏っている事実に驚き大変面白味を感じています。以前、学校経営の授業で聞いた、「君たちはかなり専門的な人たちの中でも社会的な人」という言葉の意味が、社会人になるとよく分かりました。（何せノートリアという動物さえよく理解されない...泣く...）

結論として、**専門的な知識を持つという事は、社会人としての希少性を持つという事です。**就活について考えてる人・考えてない人色々だと思いますが、**自分の希少性は自分でしかあげられません。**科ボラのような活動をした人なんて正直、社会人生活4年の中で一度も出会ってません。**自分を量産型社会人にするか、SSR（スペシャル・スーパー・レア）社会人にするかじっくり決められる素敵な時期です。**今後もしっかり面白おかしく楽しんで人生を進んでください。

::: 学生スタッフ会 OB/OG 紹介 :::



ゆーすけ

住友ファーマ株式会社 勤務
(2022年4月より大日本住友製薬株式会社から改名)
 岡山理科大学 理学部 化学科
 (2016年卒業)
 科ボラ在籍 2012-2016年

** 近況・仕事内容 **

学部卒業後、同大学大学院に進学し、2018年に学位：修士を取得しました。その後、**大阪大学大学院理学研究科化学専攻に進学**しました。2021年に学位：博士を取得し、住友ファーマ株式会社に入社しました。現在入社2年目で、リサーチディビジョン化学研究ユニットに所属し、**未だ有効な治療方法がない疾患を抱えた患者のために**、また、人々の健康で豊かな生活のために、日々新薬研究に取り組んでいます。

** 科ボラの思い出 **

様々なイベントで科学教室を行ってきた中で、2つ思い出があります。

1つ目は、「水の大切さ」などを伝える水道局のイベントです。このイベントは、夏には複数日開催し、他にもクリスマスイベントを行ったりします。水を使って簡単な実験を行ったり、ペットボトル噴水で子どもたちと遊んでびしょ濡れになったりと、非常に面白かったです。

2つ目は、人と科学の未来館サイピアで開催したわくわく科学フェスです。このイベントにおいて**恐らく科ボラ初？大人向け科学教室を開いた**ことです。この教室を開催しようと思った理由は、折角なら子どもの付き添いで来た親御さんにも科学の楽しさを味わって欲しいと思ったからです。実際行ってみると反響は良く、親御さんにも楽しんで帰ってもらえたので、挑戦してよかったです。

** 今役に立っていること **

現在の仕事に役立っていることとしては、“**理由を考え、説明する**”ことです。私は科学教室において、科学現象を必ず言葉で説明していました。確かに、科学現象は驚くようなことや、不思議なことがあります。しかし、**現象が起こるからには必ず理由が存在し、その理由を考えて明らかにすることが科学の面白さ**だと思います。子どもたちにも、その面白さを少しでも分かち合えたらと思い、常に一緒に考えて説明することを行ってきました。その中で注意していたことは、小学生でもわかりやすく、さらには小学生でも説明できるように言葉を噛み砕いて説明することです。正直最初は上手くできませんでした。噛み砕いて話せば、**ダラダラと回りくどくなってしまったりと…**それでも、向上心を持って取り組んだ結果、身につけることが出

来ました。現在の仕事は有機化学で薬を合成する仕事ですが、あまりにも専門分野すぎて、同業者でも伝わらないことがあります。その時に、**科ボラ時代で身につけた、“理由を考え、説明する”という能力を発揮してプレゼン**など行なっています。

** 後輩へのメッセージ **

科ボラは様々なイベントを通じて、主催者ややり取りを行う機会が非常に多く、言葉遣い・電話やメールマナー・ニーズに応える努力など、**一般的社会常識を鍛えることのできる絶好な場**です。折角なので意識しながら活動をするといいかもしれませんね。

また、**多少なりとも専門性を持って社会に出ると、稀有な人材になり、自分の価値が上がります**。なんとなく大学に入った人も、既に目標を持っている人もいると思いますが、大学4年間で自分なりの専門性を身につけて、価値を高めることのできる期間です。科ボラReturnsというグループラインも発足し、これまで以上に現役生とOB・OGとのコミュニケーションが取りやすくなっています。**わからないことがあれば聞いてみるのもアリかも**。今後も今しか過ごせない時間を大切にして、自分を磨いていってください。

[写真は学生時代📷]



∴ 学生スタッフ会 OB/OG 紹介 ∴



わでいー

丸五ゴム工業株式会社
岡山理科大学 理学部 化学科
理学研究科 化学専攻
(2020 年度卒業)
カボラ在籍：2017-2018

** 近況・仕事内容 **

入社2年目、早くも1年半が経ちました。入社時からは倉敷市に住んでおり、気ままな一人暮らしを楽しんでいます。勤務先も歩いて5分とストレスフリーなご近所ですが、通勤はバイクです。会社はゴム製品を取り扱っており、研究開発枠で仕事をしています。仕事では一つ目の転換点を迎えており、材料設計から製品設計に業務が変わりつつあります。知らないことばかりの入社当時を思い出しながらも、日々の成長を楽しんでいます。

** カボラの思い出 **

二言なら“行けば誰か居る。居れば誰か来る。”

語るならカボラとの出会い。二回生のGW明け、3限終わりで帰ろうとフラフラしている時に藤田（後の15生会長）がカボラから現れた。以前、講義で話ただけだったが話が盛り上がり、階段降りてカボラに突入。先輩方とも話をしているうちにバイト先を紹介してもらうこととなった（後に大学院を修了するまで5年近く勤める）。

在籍中は同期との一年のGAPに焦りを覚えたり、イベント終わりの達成感を共有したり、みんなでバカやったり、怒られて落ち込んだりもしました。これらの思い出の起点はカボラとの出会いにあると思っており、**できることならもっと早くカボラと出会いたかった**です。うろ覚えですが、入学式遅刻したから祝砲もカボラもこの時まで知らなかったはずです。

** 役に立っていること **

このタイトルが個人的に一番難しいと感じました（タイトルは何でもOKといわれていますが）。**役に立っていることが有り過ぎてどれを選ぶか悩みました**。その中でも私（大和田）らしさを感じられる楽しむことについて過去の話と併せて紹介します。

Showやブースで出し物をするときは楽しくテンションを上げて行うのが私のスタイルでした。自身の成長を感じることや、承認欲求が満たされることが好きでカボラの活動を続けていました。しかしながら、準備に時間を掛けても上手くできないことや、テスト期間中のボランティアなど辛いと思う時もありました。

辛いと感じているのに楽しく高いテンションで振舞う自分に矛盾を覚えた結果、**シンプルな頭でせっかくやるなら楽しもうという結論を出しました**。この考えはプライベートと仕事の両方で役に立っており、怒られている時以外は便利です。面倒事、問題事、悩み事などに取り組む際は試してみたいかがでしょうか？課題解決も自分が成長するための経験になります。

** 後輩へのメッセージ **

勉強の場所は大学の講義だけではなく、**身の周りにも成長のチャンスはあります**。専門分野以外の勉強や情報を集めて考えることも人間力の向上につながると思います。カボラは上記の環境に適した場所であると共に、学生生活の思い出をつくれる場所です。あなた方の後輩にとってもより良い場所であり、より良い活動となるように先生方と協力して日々の成長を積み重ねていって欲しいと思います。

[写真は学生時代👉]



::: 学生スタッフ会 OB/OG 紹介 :::



さつきー

建設会社勤務

岡山理科大学 工学部 建築学科

(2021年卒業)

科ボラ在籍2017-2019

** 近況・仕事内容 **

入社2年目で大学の頃と同じく実家暮らしです。建設会社で工事現場の施工管理という仕事をしています。当時の私を知る人は驚くと思いますが、1時間半ほどの車通勤をしています。半年ペースで現場が変わるのですが、建物の造りが変わると新しく覚えることも増えます。2年目とはいえ、分からない事だらけでまだまだ勉強中です。日々業者の方や先輩方に教えてもらいながら頑張っています。

** 科ボラの思い出 **

初めてのサイビアはとても印象に残っています。私が科ボラに入るきっかけでもありません。初のブースは水中シャボン玉でした。最初は必死で説明も上手くいかなかったのを覚えています。顔に「はてな？」が浮かんでいる子、途中で帰っちゃう子もいました。焦っていた私は顔が怖かったかもしれません（笑）

そんな中で**笑顔の子どもたちに囲まれ**

て楽しそうにブースをしている先輩方は**とてもかっこよくて、キラキラして見えました**。自分もこんな風になりたい！と思い、科ボラに入ることを決めました。いざ入ってみると、**頼れる先輩、優しい先生、面白い同期、元気な後輩、皆素敵な方々ばかりで気づいたら毎日通っていました**。

** 役に立っていること **

仕事柄、人に説明をすることが多いです。建具の納まりや完成のイメージ等を業者やお客様に伝えなければなりません。**どうやったら分かりやすいか説明の順序を考えたり、図面に書いて見て分かるようにしてみたり、間違いなく伝わるように特に気を付けています**。

このような説明の仕方などは、科ボラで身に付いたものだなと感じます。ブースやショーの際に話し方を工夫したり、絵をかいたり、分かりやすく伝えるように心がけていたことで、今になっても自然と伝え方を工夫して話すようになりました。

** 後輩へのメッセージ **

私は科ボラを通して、科学の楽しさを伝えたいなと思いながら活動していました。

人に楽しんでもらうには、まず自分のやっているブースやショーのネタの楽しさや面白さのポイントを見つけると良いかもしれません。どこがおもしろいのか、いつとも違うのはどこか、どうしてそうなるのか。

毎日練習で反応等を見ていると何度も見すぎて面白さが分からなくなったり、飽きてきたりすることもあると思います。そんな時は初めて見た時を思い出したり、仲間に見てもらったりして、楽しさ面白さを再確認して下さい。**楽しさは見ている人にも伝染しますから、自分自身が楽しむことを大切に、科ボラを楽しんでください！**

[写真は学生時代👉]



学生スタッフ会 OB/OG 紹介



わっくん

千葉県千葉市立中学校勤務
(理科担当)

岡山理科大学 理学部 基礎理学科
(2019年度卒業)

科ボラ在籍 2017-2019

近況・仕事内容

2019年度卒業の16回生、基礎理学科の“わっくん”こと坂田航です。

科ボラ時代は頭に鍋を落としたり、踊ったり、【フリー素材】になったりと様々なことがありました。笑

現在は千葉県千葉市で中学校理科教員をやっています。昨年までは、神戸市で2年間担任もやらせていただきました。「卒業後2年間神戸にいたのに、今は千葉...」?となりますが、教員なんてきつとそんなものです、たぶん...知りませんが。

実際、どこにいても変わらない仕事というのは本当で、関西弁と標準語の壁“以外に”大きな障害なくやっています。

では、どこにいても変わらない仕事というのが何かというと、理科を教えること、もそうですが、一番は子供たちと関わるということです。

私で言えば、どこに行っても中学生と関わり続けることに変わりはありません。向こうからやってくる子、表現が苦手な子、...ませている子も含めて！

科ボラの思い出

科ボラでやっていた活動は大まかに言ってしまうとこの延長でした。

当時の活動でのやり取りは、確実に今の私の行動に影響を与えています。たぶんいい方に。

(当時と今を比較して、やっていることもテンションも大して変化がないので...)

実際、2回生からボランティアに参加するようになった私でしたが、関わってしまったメンバーが良かったのか、...悪かったのか...毎週のようにボランティアに参加し、気が付いたら始終ボランティアに参加し、知らない間にボランティアに参加、不思議デラシイ毎日デシタ。

そんな中でも、思い出に残っているボランティア活動というのが2つあります。1つは初めて本格的に参加することになった「うかん科学あそびランド」での大雨の一日。今も関わり続けるメンバーと最初に対面したのがここだったこともあって、今でも思い出せるくらい印象に残っています。

ブースの先輩には不慣れ過ぎてたくさん迷惑をおかけした気もしています。今思えばあそこが引き返すチャン s...いや、ターニングポイントになっていたんだと思います！笑

もう1つは鍋です...!? 鍋、ですね。何故かもはや「鍋と言えば私」と、当時のボランティアメンバーから思われているんじゃないかと思うまでの「鍋落とし」。慣性のショー“慣性で大歓声”です。化学

科の某 SS さんとともに考えたショーでしたが、最終的には私が自ら糸を引っ張り、自分の頭に鍋を落とすという、自傷ムーブをすることになっていました。それでもたくさん頭を捻ったこともあり、いい思い出になっています。

そしてあのショーから学んだことがもう1つあります。それは**〈手綱を握ることの大切さ〉**です。しっかり手綱を握ったつもりでも、それ以上の力で動き回る場合はどうしようもない、ということも一緒に学びました。これが活動を続けた中で一番の経験でした。というのは流石に冗談ですが(笑)

後輩へのメッセージ

途中でも話した通り、**ボランティアでやり続けていた“子どもとの関わり”は、いま確実に生きています。**中学生相手でも変わらず、**子どもの方を見て、関わり、話す。**これから先生を目指している人は、是非どんどん子どもと関わってあげてください。先生にならない人も、**人を見て、相手を考えて、話す。その行動はどこで何をしても必要になると思います。**

以上、卒業した当時の変わり者からでした、ありがとうございました。

[写真は学生時代 📷]



学生スタッフ会 OB/OG 紹介



りかちゃん

岡山理科大学 理学部 応用数学科
(2018年卒業)

科ボラ在籍期間：2014年—2017年
勤務先：エンタメ企業

近況・仕事内容

学部卒業後、神戸大学大学院理学研究科数学専攻に進学し、2020年に今の会社に新卒入社しました。現在は、パークの運営戦略を策定する部に所属し、**ゲスト満足度とビジネス成長の最大化を目指し、日々の様々なデータの調査・分析を行っています。**

科ボラの思い出

科学教室やイベントでの思い出ももちろんありますが、毎日講義終わりにボラセンに行くと先輩や先生、同期、後輩の誰かが居て

…他愛ない話や誰かの鉄板ネタ、科学ネタで盛り上がった日々。遅くまでイベントの準備をして、誰かの家に集まってご飯を食べ遊んだ日々が思い出深いです。

科学イベント絡みでは、自分の専攻である数学ネタで科学イベントができないかと、「一筆書き」や「メビウスの帯」を題材にしたイベントをさせていただいたことが思い出深いです。**1から授業を作成するにあたり、現象を理解して数学的な根拠を証明する際には、ガッツリ大学数学が必要で…**当時学部2年生かそこの私は、理解することにも一苦労。それを分かりやすく表現する方法にも苦戦しました。適宜先生からアドバイスいただき、**恐らく当時初の数学ネタの科学イベントを実施することができました。**



いま役に立っていること

様々なイベントを通して、誰かが楽しむ姿を見ることへの快感とチームパワーで達成することの喜びを覚えました。現在は在宅勤務が主ですが、パークへ行くとゲストが楽しむ姿を見ることができます。もちろんそれは、私一人の仕事ではなく数千の従業員と一緒に創り上げている笑顔です。**私の仕事選びの軸は、この科ボラでの経験が根にあり、難しい場面に直面しても、過去の経験から自負を得てやりがいを力に変え継続することができます。**学生時代の科学ボランティア活動を通してそのような礎を築くことができました。

後輩へのメッセージ

これは科ボラ、というよりは理大生の特徴だと思うのですが…とにかく色々な意味で「濃い!」です。例えば、ヌートリアへの愛が深いお姉さま、キノコや苔の知識が凄い方、研究室にブリを持ち込んでそれを捌いてお寿司握っちゃう人などなど。**このような濃い人に、私は社会に出てから会ったことはありません(笑)。**この記事を読んでいる、そこのあなた! きつとあなたも「濃い」何かがあるのでは?

理大、特に科ボラに居ると「**様々な専門性を持つ濃い仲間**」と出会うことができます。自分の専門知識をウキウキ話してもドン引きされない環境は今だけです笑。一般的に「濃さ」を受け入れてくれる人は少なく同類でなければ、伝わりにくいのです。しかし、**濃さはかけがえのない魅力**であると私は思います。大学生活も終わりに近づくと、就活や教採などがやって来ます。その際に科ボラでの経験やエピソードはあなたの「濃さ」を分かりやすい魅力としてアピールする武器になります。貴重な環境にいる今を大切に、今しかできない科ボラLifeを楽しんでください。きつと、**一生の思い出を量産できる**と思います!

[写真は学生時代👉]



学生スタッフ会 OB/OG 紹介



みっちー

広島市立中学校 勤務（7年目）
（理科担当）

岡山理科大学 理学部 化学科
（2016年度卒業）

科ボラ在籍 2012-2016

近況・仕事内容

卒業後1年間、広島市の臨時的任用教諭を経験し、その年に広島市の教員採用試験に合格。現在は広島市の中学校で教諭として勤務しています。早いもので、教諭として働き始めて7年目になりました。『理科を楽しむ』ことを大切に日々、教材研究に追われています。

「自分が楽しいと思えなければ生徒も楽しくないよな～」といつも考えています…。中堅と呼ばれる勤務年数になりましたが、理想の授業を行うにはまだまだ修行が足りぬみたいです。（何年かかるかわかりませんし、できずに引退してしまうかもしれませんが、とにかくがむしゃらに頑張っています。）

科ボラの思い出

そもそも『科学ボランティアセンター学生スタッフ会』に参加したきっかけが同期のYくんでした。

誘われるままに部屋を訪れそのまま入会。人前で話すことが“とても”苦手だった私にとって、人前でショーや授業をするなんて思いもよませんでした。（この話をするとみんな頭に「？」を浮かべるんですね。なぜ？笑）

そんな科ボラでの思い出は、『4年間の活動そのもの』です。実験や工作の仕方を先輩やコーディネーターの先生方に教えていただいたこと、それを後輩に伝えたこと。そのために夜遅くまで残って作業や話し合いをしたこと。科ボラのスタッフルームで何気ない話で盛り上がりたり、ボランティアについて話しかけたこと。イベントに来てくれた子どもたちが笑顔で帰ってくれたこと。一緒になって（時には大人気なくムキになって…）遊んだこと。小さな思い出が積み重なって「科ボラ」の思い出として残っています。

役に立っていること

やはり一番は、「仮説実験授業」です。生徒にわかりやすく授業できることはとても大切ですが、どれだけ「わかりやすい授業」をしたとしても、生徒が自ら考えることができるように展開しなければたった50分間の授業の中で、本当の学力を身につけることはできません。仮説実験授業を通して、生徒自ら、段階的に考えるためにどんな言葉を投げかけなければならぬかを勉強することができました。

「生徒が知りたいことを教えることができる教員に」なることが今の私の目標です。その目標のためにも、時には真剣に、時にはおどけて、時には驚きを生徒たちに与えることができるよう努力を続けています。科ボラで自分が行っていたことにさらに磨きをかけながら授業に向かっていきます。（色々な意味で本当に科ボラでは様々なことを体験させてもらえました。すごい場所ですね）

後輩へのメッセージ

とにかく色々なことに積極的にチャレンジしてください。科ボラにはその機会と場所がたくさんあります。教員を目指している人、子どもたちの目の前でイベントを行うことは、必ず将来自分の力になります。説明を考え、かみ砕き、わかるように目線を合わせて説明する。やりきるのは大変なことですが、その経験は他の何にも代えがたいものです。教員を目指してなくても、イベントの企画立案、打ち合わせなど、社会に出て通用する力を身につけることができます。

とにかくがむしゃらに、納得がいくまで試行錯誤を繰り返してください。応援しています。

【写真は学生時代 📷】



2014年度 ウカンザ☆フェスティバル